

細田が3連覇、ジャパンカップ2大会連続優勝

2007日本スプリントトライアスロン選手権幕張大会速報

女子は太田が地元千葉で嬉しい優勝

7月8日(日)、千葉県千葉市の幕張新都心にある千葉ロッテマリンスタジアム周辺特設コースで、2007NTTTトライアスロンジャパンカップ第6戦・2007日本スプリントトライアスロン選手権幕張大会が行われた。スプリントディスタンスで、ランキングポイントが獲得できることもあり、若手選手を中心とした女子22名、男子55名と多数の選手が参加した。

午前10時30分スタートの女子は、千葉が地元の太田麻衣子(千葉県連合)がスイムを一番手で終え、そのままバイクへ。6周回するバイクでは、1周目から太田がトップを独走し、その後ろで佐藤優香(日本橋女学館高等学校)が追い、さらに蔵本葵(東京ヴェルディ)、伊藤弥生(ウイングスTC)、名村梓(明治大学)、村上真悠(千葉県連合)の4名で第3集団が形成された。

しかし、後半に入るとその体制は崩れ始める。まず、2位につけていた佐藤のペースが落ち、太田との差が徐々に広がっていく。そして第2集団がスピードを上げると、村上が脱落。結果的に佐藤と第2集団の距離は縮まり、ランに入る直前には伊藤が2位となった。

ランに入っても太田の独走態勢は止まらない。巻き返しを図ろうと佐藤が必死で追うが、結局最後まで捉えることができず、太田が1位、



スイムをトップで終えた太田は、そこからランまで独走態勢に

細田 雄一
(ウイダー)

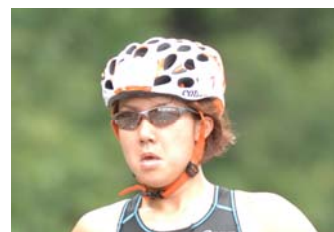


3連覇や2大会連続優勝したことに対する嬉しさよりも、幕張大会は自分の得意なコースなので、とりあえずいまは優勝できたので安心している。

来年度も出場できたらぜひ優勝を狙いたい。

次のレースは、来週7月15日(日)に徳島で開催される、ひわさうみがめトライアスロン。

太田 麻衣子
(千葉県連合)



後ろについている選手たちが「ランが速い」というのを分かっていたので、バイクで攻めて、大きく差をつけようと思っていた。何よりも、地元である千葉で優勝できたことがとても嬉しい。

世界選手権も2カ月後に控えているので、トップに立てるように頑張りたい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



細田が3連覇、ジャパンカップ2大会連続優勝 2007日本スプリントトライアスロン選手権幕張大会速報

佐藤は2位でレースを終えた。

午前11時45分にスタートした男子は、スイムが得意の山本良介(トヨタ車体)がトップで上がり、バイクへと向かった。その後を、ほぼ差がないまま福井英郎(トヨタ車体)、細田雄一(ウイダー)、長谷川雄一(東京ヴェルディ)が追う。

バイク序盤は山本がトップに立ち、福井、細田、長谷川の3名で第2集団を形成。犬童太一(東京ヴェルディ)、平松弘道(神奈川県連合)ら、若手選手を中心とした16名の第3集団をつくった。ところが2周目に入るとペースを上げた山本、福井、細田の3名がトップ集団となり、長谷川は下がって第2集団に吸収されてしまう。

終盤になっても体制は変わらず、トップ3選手の差がほぼない状態のままバイクを終えた。

ランでは山本が飛び出し、細田、福井との距離を広げようとするが、途中でスピードが落ちてしまう。その隙を細田が捉え、後半から後続を引き離して単独トップに。勢いは最後まで止まらず、細田が1位でレース終え、2位、3位には最後まで食らいついた山本、福井が入った。

細田は今回で幕張大会3連覇、スプリント選手権2連覇、今年のジャパンカップは七ヶ浜大会に続き2大会連続の優勝となった。

なおレースの様子は、フォトギャラリーでご覧になれます。



細田、福井を追う山本

山本 良介
(トヨタ車体)



今日のレースは完敗。本当はもっと余裕をもって、スイムからバイクに移りたかったけれど、スプリントは泳ぐ距離が短いので、そこまでかせぐことができなかった。

自分の結果は良くなかったが、このレースはほかの選手にとっても良い刺激になったと思う。次は、2週間後に開催されるワールドカップ・キッツビューエル大会。

佐藤 優香
(日本橋女学館高等学校)



バイクでは第2集団に入らず、何とかトップ集団入って逃げようとしていた。それでも結局、太田選手に追いつくことができなかったの、結果的に単独で走る形になってしまった。2位でも、トップに追いつけなかったことは悔しい。

次は、小名浜のスーパーズプリント選手権に出場する予定。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

